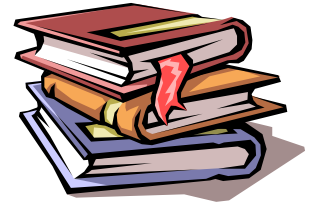


NEWS LETTER



NO.5 1 周年記念号 2000.11.20

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本（甲山国際文科学館内）

〒658-0003 神戸市東灘区本山北町3-2-10

TEL：078-453-5941

紅 や黄色に美しく色づいた樹木が季節のフィナーレを飾っています。

私たちの「にほんごひろば岡本」はこの11月1日で満1歳の誕生日を迎えました。支援者26名、学習者2名でスタートした活動は、つまずき、立ち止まりながらも少しずつその歩を進めて来ました。11月20日現在、登録者数は支援者48名、学習者43名で、そのうちの37組が学習をしています。

10代から50代まで、それぞれの学習者が必要としているものは実にさまざまです。地域の日本語教室だからこそできることをいっしょに考えながら、一人ひとりの学習者が、より良い毎日を送れるように手伝いたいと思っています。

学習者との出会いは、異文化との出会いです。その時、支援者は「日本・日本人・日本文化」というものについて見つめ直す機会を与えられ、学び直すことができます。お互いを知り、学び、尊重しあえる関係を作り上げられたら、どんなに豊かになれるでしょう。そんな出会いのできる「ひろば」でありたいと思います。

また、支援者どうしが立場や世代を超えて交流する中で、自分の個性に磨きをかけ、その人らしさを生かした支援活動ができるような「ひろば」にしたいと思っています。2年目の活動をさらに充実させるために、皆様の率直なご意見をお寄せください。

みんなで作るにほんごひろば岡本



クリスマスパーティーのお知らせ

日時 12月23日（祝）12～15時

場所 にほんごひろば岡本

会費 500円

なお、ミニバザーを予定していますので、ご協力お願いします。料理の持ち寄りも大歓迎です。たのしいひと時を過ごしましょう。



支援者の紹介

石田妙子

8月末からキャシーさんを担当しています。

日本語教師の勉強は通信教育を終了しました。教科書の上だけの、ともすれば独りよがりになりがちな勉強法で、落ち込むこともありました。実際に教えた経験はなく、ひろばに伺った時は不安がつのるばかりでした。その都度、西村さんや他の方達に励まされました。この場を借りて、お礼申し上げます。

趣味はいろいろありすぎて、3人の娘から“好奇心過多”といわれています。ジャズが好きで、今年6月に亡くなったアンリ菅野さんからジャズを習っていました。練習そっちのけで先生と料理を作ったり、ライブに行ったりしていました。花を生けるのも、本を読むのも、映画を観るのも大好きです。得意なものは掃除。よく友人たちから「一家に一台」とからかわれています。キャシーさん共々、皆様よろしく願いいたします。

今田理恵子

はじめまして、こんにちば。

ほんの2カ月前から、この「にほんごひろば岡本」でお世話になっています。今、神戸松蔭女子大学の4回生で、日本語教育コースではなく、英語英米文学科に在籍しています。というわけで、『日本語を教える』ことに関しては、全く(!!)無知な私ですが、「やりたいからやってみよう!」という勢い(?)とやる気(!)が、私をここ、「にほんごひろば岡本」に引き合わせてくれました。すごいことです。

さて、私のパートナーのジョンさんはアメリカのサンフランシスコ出身の32歳。背がとても高く、日本語がかなり上手に話せます。一緒に勉強する1時間半の半分以上を雑談で終えてしまうこともあり、しゃべりだすと止まらなくなります。こんな風に、私は「教える」というより「話し相手になる」ために来ているようなものですが、精一杯楽しみながらやりたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

小椋匠子

ゴンザレスさん、ヴィンさんを担当しています。

以前、日本語教師養成講座に通ったまま、活かせる機会がなかった日本語をボランティアとして教えたいと思って探していたところ、この「にほんごひろば岡本」を見つけました。2年前東京から神戸に引っ越してきて、やっと関西にも慣れたかなあという頃でした。関西でも働いたけれど、職場はやはり皆さん外の顔。標準語でお話されるのでこれは、関西人の本当の姿じゃないなあ、と思っていたのですが、ここに「にほんごひろば」では西村さん始め、パワフルな関西人が楽しく外国人に日本語を教えているので、そのパワーに圧倒されながら通ってます。

今は、午後から働きながらなので午前中の授業の後あわただしく帰っているのですが、そのうちみなさんとゆっくりバリバリの関西弁でお話したいです。(わたしが、話すと違和感があると思うけど)

竹中興時

ラッキーでそしてハッピー

数学教師志望がどういうわけか商社マン、一応所謂猛烈社員として転勤8回、転宅12回、昨春やっと卒業して故郷の神戸に舞い戻り、今や念願の教師(?)見習中。

キッカケは吾がベターハーフ。旦那の赴任地へ同行するや、元“戦争花嫁”が多数在籍する老人ホームでVolunteerに、運転免許を取って(47歳)英語の勉強にV宅通い、旦那不在(勿論帰ってはいた)の長い時間を活かして履修したハンドクラフトも3、4種(一応我が家を飾れている)、帰国後は早速講座を取ってお返しの日本語学習支援、“卒業すれば俺も・・・”と亭主をその気にさせる。

振り返れば、身近に意欲的で前向きな方々に恵まれ続けて、つくづくラッキーと感謝。神戸市民でありながら特別に受講させて頂いた三田の日本語学習支援者養成講座で3人の素晴らしい先生方に感服。飛び込んだ吾が“ひろば”では老若男女を問わず多くの同僚支援者が熱意と努力で日々取り組んでいるのを知る程に感銘を受ける。

第2の人生では意欲ある人々の自己研鑽に少しでも役立ちたいと。その為には、何よりも自身の勉強が先決。啓発された方々の努力の何分の1かでもと、己を鼓舞する毎日です。宜しくお願い致します。

四本 裕

こんにちは。阪神シルバーカレッジ・国際交流学科2年の四本（よつもと）です。

3年前、定年を機に外国を回ってきました。その時に、色々な国の人の世話になり、本当に有り難く思いました。それで私も国際的な繋がりの中で、何かお役に立つことができたらと思って、日本語学習支援を始めました。

養成講座を受け、支援を始めてから足掛け2年になります。やってみると、なかなか大変な仕事です。文法やら語彙やら読解やら……。それはそれで大切だとして、私の授業では2つの事を心掛けています。

1つは、学習者に「沢山声を出させる事」、もう1つは、「楽しく学習できるようにすること」です。私も3年後に、TOEICで550点を取ることを目指して英語を勉強しておりますが、とにかく、語学の学習には声を出すことが絶対必要だと思って、私も実施しております。それに、朗読やストーリーテリングもかじっておりまして、はっきりと音（声）を出すには、これまた、声を出して練習する以外にはないと思っているからでもあります。

もう1つのモットーの「楽しく学習する」というのは、基本的に「にほんごひろば岡本」に来て学習している人は、楽しく学習できていると思います。能率だけ考えると、独習の方が余程良いのではないかと思います。但し、此処に来て学習しようというのは、やっぱり楽しいと思えばこそではないでしょうか。

授業では、あれもこれもと思うことが沢山あります。でも、やり過ぎて失敗した事もあります。そうなっては、学習者も支援者も惨めです。何はともあれ、楽しくやるのが大切だと思います。そんなわけで、今後も学習者と一緒にあって声を張り上げながら、楽しくやっていきたいと思っております。よろしくお願いします。

学習者の紹介

グエン・ティ・ドゥク・ヴィンさん（女性）ベトナム出身

9月から担当しているヴィンさんは6月にベトナムから来たばかりの女性です。ベトナム語の翻訳をしている日本人の旦那さんと結婚して日本に来られたようです。勉強熱心で、出した宿題のほか自分でもさらに独学で勉強してくるので、こちらも一生懸命になってしまいます。気が抜けません。

また、ヴィンさんも日本人にベトナム語を教えているようで、時々私にも単語を教えてくださいますが、発音が違うとキビシク注意され、正しく発音できるまであきらめてくれません。見かけは、やさしくか弱そうな美人ですが、実はとても芯のある女性なのです。

まだ、日本に来て数ヶ月なのにケーキ屋さんでも働いており、「休む暇がないよー」というくらい活動的です。

暑いベトナムと違い、日本に来て初めての寒さを体験しているために、今は体調を崩し気味ですがそのうちこの寒さにも慣れてますますパワーアップして日本語を吸収していくことでしょう。（小椋匠子）

胡 淑玲さん（女性）中国出身

7月24日から一緒に勉強を始めた胡 淑玲さんは西安で生まれ、今年の4月に日本に来るまでは、上海で仕事をしていました。今は、神戸商船大学で勉強されている中国人のご主人と魚崎で暮らしています。

日本にきた時は、全く日本語が話せなかったそうですが、一週間かけて50音表とにらめっこして、ひらがなを覚えたというほどの熱心さで、今ではテキストを離れて中国の食生活、物価、教育など、英語もまじえてではありますが、色々話してくれます。

私もこの10月から、娘の学校で父兄を対象にした中国語講座を受講、週

一回90分勉強しています。中国語の発音は日本語にも英語



にもない音とイントネーションで、四苦八苦しています。最近では日本語の勉強が終わったら、私の方が淑玲さんに発音の指導を受けているという有様です。中国語を学んでみて、文法の単純な中国語を母国語とする中国人の方々が、文法の複雑な日本語を習得するためには多大な努力が必要だということを、ひしひし感じました。

日本語支援者としては、まだまだ不勉強な私ですが、淑玲さんにできるだけ多くのものを学んでいただけるよう、日々努力したいと思っております。(橋本桂子)

今井カレンさん(女性) 香港出身

竹内明子さん(女性) 韓国出身

子どもの時代から欲深い私。おやつは妹より少しでも大きい方。高校時代、バスケットをしてもボールを誰よりも多く取ろうとする。就職しても、家事をしても、できるだけ楽をしようとした私だった。人生の半分を過ぎ、振り返ってみると無残! 残念!

これから少しでも人の役に立つことをせねば・・・(地獄行きになるかもしれぬ)と考え、在日外国人の方々の手助けを



することになりました。

在日十年あまりの今井さんは香港出身、英語、

パソコンに強い方で、いつもきちんと予習されています。

竹内さんは執筆活動をしたいという夢をもたれ日本人でも答えにくいようなことを質問されます。二人のお国柄、日本との違いなど話し合いながら少しでもお役にたてたいなと思っています。(山本雅代)

西田カルメンさん(女性) ブラジル出身

渡辺優一さん(男性) アルゼンチン出身

私は今、4人の外国人と一緒に勉強しています。今日はその中の2人についてお話しします。2人は日系の人で、ブラジ

ルとアルゼンチンから来ています。2人とも会社は違いますが弁当屋で働いていま



す。共通して日本語を聞いたり話したりは上手にできるのですが漢字が読めないのが、漢字を中心に学びながら会話したりして勉強しています。

毎週、テレビや街で目にとまったり耳にした言葉でわからないものがあつたら書いてきてもらって、意味を説明して使い方の例をあげながら使えるように勉強しています。最近ではテレビからの言葉が説明しにくかったり、使い方のいい例が見つからなくて少々困る時もあるのですが、楽しくやっています。その他、自動車教習の本を使って免許を取れるようにと漢字を読んで覚えられるようにも頑張っています。週に一度ですが4人に会うと自分自身も励まされ元気づけられます。(須田ゆうこ)

キャシー・ショートさん(女性) アメリカ出身

7月にアメリカのヴァージニアから来日し、現在、三宮のNOVAで先生をしています。アメリカで6カ月、日本語を勉強したとのことですが、初めてのレッスン(8月末)では佐古田さん指導の下でしたが、ひらがなは読めるし、理解力のあるのに驚きました。明るくて知的な人というのが第一印象でした。趣味は読書、そして好み焼きが大好きです。慣れない私が指導中、キャシーさんの方が先生のような気がする事があります。さすが英会話の先生、教え方のコツをよくのみ込んでいるようで、私の方が生徒?のよう。

一年間の日本滞在ということですが、日本の友達をたくさ



ん作って楽しく過ごして欲しいです。(石田妙子)

パッチャリン・ソポンタラドルさん（女性）タイ出身

タイのバンコク出身のパッチャリンさんは、日本に来て2年目の、非常に学習熱心な明るい方です。大学院で「家族社会学」について研究するため、今は甲南女子大学の講義を聴講しています。講義は地域社会学や社会学概論、英文表現法など多岐にわたっており、テクニカル・タームを覚えたり、



日本語の講義についていくのが大変とのことですが、以前、「今してみたいことは？」聞いたとき、「日本の文化や生活様

式を知るために、日本人の家族と暮らしてみたい」という答えが返ってきて、彼女のいつも前向きで努力し続ける姿勢を感じました。現在、私自身が大学院で国際協力政策を専攻していることもあり、社会学の話などは休憩のとき、日本語の勉強そっちのけで話したりします。

現在、『日本語中級読解』を使用していますが、実力はほぼ上級者と同じで、聞き取りや漢字の読み書きもかなりの程度できます。日本語を教えることが今回初めての私が、何とかやっていけるのも彼女の高い日本語能力と明るくて優しい人柄のおかげです。日本語の教授方法について全く勉強したことのない私は、いつも広辞苑や英和・和英辞典の入った電子辞書を駆使して、身振り手振りで必死に教えています。理解しづらい部分は、英語も使いながら2人で協力して学習しています。タイ語にない発音や日本独特の考え方や生活様式に苦労しながらも、一つ一つ確実に身に付けていっているようです。これもひとえに、毎回予習を欠かさず、分かるまで粘り強く学習するという彼女の真摯な態度によるものだと思います。

このように学習熱心なパッチャリンさんにも、実は、毎週月曜日の晩に放送されている「名探偵コナン」を楽しみにしているという御茶目な一面もあります。他にも、北海道に行ってスキーをしてみたいとか、買い物やタイ人センターへの行き帰りのためにバイクがあったらいいなどという話してくれます。以上のように、本当に学習熱心で明るいパッチャリンさんが日本語を習得し、自分の希望する研究ができるよ

うになることを心から願っています。これからも電子辞書とにらめっこしながら、パッチャリンさんと楽しく有意義にやっていたいと思っています。（榛澤周一）

新企画 学習者のひろば

今回から学習者にもこの News Letter に参加していただくことになりました。初回は方 立建さん（中国）の作文を掲載します。方さんは今年の1月から「ひろば」で週2回、四本さんと学習しています。今回の作文は2月頃に書かれたものです。四本さんと一緒に、少し手直しされました。



「私の家族」

方 立建

私の家族は四人です。私と妻と、ふたりの男の子。

私は三年前に中国の上海から日本に来ました。日常生活はほとんどなれましたが、日本語はまだ上手ではありません。今ゲームセンターで働いています。休み時間は、かなり工夫して日本語を勉強しています。

妻は十年前に日本に留学しにきました。今、行政書士事務所の仕事をしています。毎日朝から晩まで働いていて、家事と仕事でとても苦労しています。

長男は小学校三年生で、中華学校に在学しています。中日両国の言葉がともにできます。

次男はまだ上海に住んでいます。小学校一年生です。幼い子供と別れて、別々に暮らしているので、たいへん気にかかっています。週に一回は電話をしています。

私の両親も上海に住んでいます。八十歳ぐらいになりますが、まだ元気です。毎日忙しく書道とか古詩とかをしています。

以上が私の家族の状況ですが、早く家族全部が一緒に暮らせたら良いのになあいつも思っています。

あ～よかった。あ～楽しかった。あ～おいしかった。 バーベキューパーティー

[フォトアルバム]

2000年10月1日、神戸市北区のしあわせの村で「にほんごひろば岡本」の学習者と支援者の交流会を行いました。参加人数は学習者20+2（子ども）名、支援者25名でした。岡本の教室を抜け出して、文字通り戸外の広場での交流会で、みんなで日本の歌を歌ったり、ボール遊びをしたり、最後はバーベキューをして楽しい半日を過ごしました。以下、その準備段階から当日の光景までをフォトアルバムにしてお見せしましょう。

バーベキューパーティーに決定

夏も終わりのある日、交流会を開こうということになりました。浴衣の着付け会、お料理教室、バーベキューパーティー、など色々な案ができました。去年のクリスマス会は「ひろば」ができて間もなかったので、どちらかというと支援者中心のものでした。したがって今回が初めての交流会になるし、人数も多くなりそうなので、屋外で、バーベキューパーティーをしようということになりました。早速8名の運営委員を中心に特別支援の四本さん、竹中さんにも加わっていただき交流会実行委員会を結成。日時は10月1日。場所は竹中興時さんのご推薦で、神戸市北区の「しあわせの村」に決定！

下見もしちゃいました

9月10日、実行委員全員で、車（四本さん、竹中さん、市川さんに自家用車を出していただきました）とバスを利用して現地を下見しました。バスの運賃、駐車場費、バーベキューの道具レンタル費など丁寧に資料を集めました。でも、打ち合わせを兼ねて？しっかり「しあわせの村」のレストランでお昼も食べて帰りました。

「四季の歌」の翻訳は学習者大活躍

♪ 春を愛する人は、こころ清き人・・・♪

学習者に歌の意味を理解してもらおうと、歌詞を英語と中国語に翻訳し



てもらいました。英語は松見和代

さんと彼女の担当のデリーさんに作ってもらいました。とても素晴らしい詩になりました。さすが、名コンビのお二人さん。中国語の方は台湾出身の林 翠津さんをお願いしました。彼女も忙しいなか協力してくれました。もう一つ、交流会の案内のチラシはNY出身のグレッグさんが英語版を作ってくれました。皆さんご協力ありがとうございました！

買出し部隊、奮戦する

9月30日、神戸市東部卸売市場へ食材の買出しに行きました。メンバーは四本隊長に市川、松見、佐古田の女性隊員です。四本隊長は随分前から買い物リストを作り、食材の値段や日用品の値段などを細かく調査され、その行き届いた準備には隊員の女性軍も頭

が下がりました。午前7時30分から午後2時ごろまでかかって買い物をしました。この日は一日中大雨でした。明日はお天気になるでしょうか。テルテル坊主を吊るしておかなくちゃ・・・

いよいよ、パーティーです

10月1日、日曜日 天は我らに味方してくれて、この日は本当にいいお天気。



↓ 春を愛する人は・・・うまく歌えたかな？



→ ボール遊びなんて何年ぶりでしょう。明日はきっと体中が痛いと思いますよ。



→ このゲームは下田先生の音頭で行いました。先生って意外と若いのね！



バーベキューキャンプ場では

6つのテーブルに分かれてパーティーをしました。

→ ゴンザレスさんの帽子がいいですね。



← 黒一点の榛澤君はご飯を炊くのに忙しくてお肉を食べてる暇もなかったのでは？



→ 隊長四本さんはどこですか？

お肉が焦げているのかな、煙が出ていますよ。



← お腹いっぱいになったかな？

竹中さんはこの写真を撮るのに忙しいのです。



☞市川さんのご主人には火を熾したり、
ご飯を炊いたりしてもらってとても助かりました。

☞目は欲するんですが、
そんなに食べられるもの
でもありませんよ。



ということで、幾つかの失敗話や不手際はありましたが、なんとか無事に
進み、交流会は午後 6 時にお開きになりました。後日、学習者からも支援者
からも「今度はいつですか？」と言う声を聞きました。これって、みんなが楽しかったと言ってくださっているのかな？
あ～よかった。あ～たのしかった。あ～おいしかった。

参加者の感想

夏も終わりの涼しくなりかけた 10 月 1 日に催されました、バーベキュー大会に参加し久しぶりに屋外で爽やかな 1 日を過ごさせて
頂きまして、有難うございました。

外国では何か機会があると、家の庭とかクラブや郊外の公園などでよくバーベキューを楽しみますが、日本では場所も限られてい
る為か、普通は年に 1、2 回も出来れば良いほうでしょう。それだけに今回は同じ様に日本語を学ぶいろんな国の方達と、一つのテー
ブルを囲んで、その方々のお国の話や、私達が訪ねた所の思い出とか、日本各地の紹介などを話題にして、焼肉の煙で燻されながら
時の経つのを忘れて楽しく過ごさせて頂きました。

日頃は、1 対 1 か少人数で勉強主体の教室から、皆さんが一同に、しかも屋外で一緒に集まってこんなに楽しい時をもてた事は大変
有意義でした。お世話くださった方々には大層なお手数をお掛け致しまして、厚くお礼申し上げますと共に、出来ましたら今後もし
ろんな形でこの様な集いをご計画願えましたら有り難い事と思っております。(山本博信)

第 4 回日本語教育ワークショップ レポート

2000 年 10 月 15 日(日) 第 4 回日本語教育ワークショップが行われました。講師は前回と同様、神戸松蔭女子学院の下田先生が
指導して下さいました。テーマは「中級の学習者への対応」ということで、中級に焦点が当てられましたが、その他にもたくさん
の質問・疑問に答えていただきました。詳しい内容は教授資料として別途作成中です。(山本晃子)

冬休みのお知らせ

2000 年 12 月 28 日(木) から 2001 年 1 月 11 日(木) まで、冬期休暇になります。



【編集後記】 NEWS LETTER も皆様のおかげで、1 年を迎えることができました。来年もより楽しい紙面
づくりをしていきたいと思ひます。何卒、ご協力のほどよろしくお願い致します。それでは皆さま、メリークリスマス&ハッ
ピーニューセンチュリー！ (M・I)